

お豆腐屋さんご紹介 第7弾

札豆食品(株)

西区宮の沢1条3丁目9-1



8代目社長 青山裕一氏

これからも毎日、「とうふや」であり続けます

昭和38年10月

札幌市内で豆腐製造業を営む100数十軒が協同で出資し創業

目的は札幌市以外の同業者に「札幌には大きな豆腐屋がある」という誇示と、出資した業者が製造していない大豆製品を補うこと

社長は出資した業者の中から選出され

現在は8代目として青山裕一氏が就任

従業員 40人



がっちゃん!と学校給食を支えます!!

学校給食・子どもたちへのメッセージ

いつも学校給食で「おとうふ」や「あぶらあげ」を食べていただきありがとうございます。

当社をふくむ市内7軒のとうふ店で札幌市の学校給食のおとうふは作られています。

みなさんの食べているおとうふの原料はアメリカで作られた大豆です。

日本のおとうふに使われる大豆は90%以上が輸入大豆です。

身近な食べ物について原産地やどのように自分たちの所にとどくのか考えてみませんか。

これから食物は、どんどん日本に入ってこなくなる可能性があります。

できることなら、自分たちの国で全てを作れるようにしていきたいですね。

給食で食べるおとうふも北海道で作った大豆で作れるようにしていきたいと思っています。

これからも、みなさんが安心、安全に食べられるおとうふを心込めて作っていきます。

どうか残さず食べてくださいね…。